

SSKU

No.86

落の会だより

八王子西局

料金別納
郵便

“ここから Smile FES”



2022/5/22 ふきのとう、ひのき工房合同販売

低料第三種郵便

社会福祉法人 落の会

障害福祉サービス事業所

ひのき工房

就労継続支援 (B型)

生活介護

〒193-0826

八王子市元八王子町

2-1839-2

TEL 042 (667) 2158

FAX 042 (667) 2168

障害福祉サービス事業所

ふきのとう

生活介護

就労継続支援 (B型)

〒193-0834

八王子市東浅川町 625-5

TEL 042 (667) 4158

FAX 042 (667) 9489

障害児通所支援事業所

地域生活支援事業所

ころぼっくる

放課後等デイサービス

認定短期・日中一時

〒193-0834

八王子市東浅川町 629-1

TEL 042 (666) 5609

FAX 042 (666) 5619

障害福祉サービス事業所

ぼぷら八王子

就労継続支援 (A型)

就労継続支援 (B型)

〒192-0001

八王子市戸吹町 2104

TEL 042 (696) 5090

FAX 042 (696) 5091

戸吹不燃物処理業務

とぶきふねん

八王子市委託業務

〒192-0001

八王子市戸吹町 1916

戸吹不燃物処理センター内

TEL 042 (659) 3586

FAX 同上

ぽぷら八王子 トピックス



ぽぷら八王子の紹介です！



2021年度もぽぷらで作ったお弁当箱の食事をお取り寄せしていただきました！



避難訓練！
消火栓で放水しています



手作業と検品の勉強会をしました！



ころぽっくる トピックス

～今回のトピックスは、ころぽっくるランキングと壁面を彩る造形のご紹介です～

◆自由時間の過ごし方ランキング

<日中一時>

1位・・DVD鑑賞



2位・・お絵描き



3位・・コラージュ

<放課後デイ>

1位・・音のなる絵本



2位・・塗り絵

3位・・プラレール



◆よく行くお出かけ先ランキング

<日中一時>

1位・・城山湖



2位・・桃の里広場

3位・・多摩御陵

<放課後デイ>

1位・・殿入中央公園



2位・・多摩御陵

3位・・服部牧場

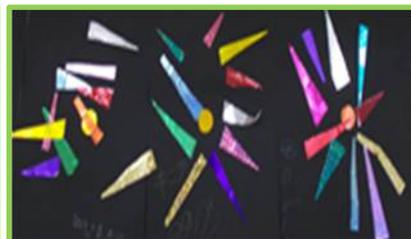


◆ころぽっくるの壁面を彩る造形たち

<春のチューリップとタンポポ>



<夏の花火>



<秋の名月とコスモス>



<冬の雪だるま>



造形には、個性が大切です。色んな個性が集まる楽しい場所、それがころぽっくる!



それぞれの施設が自分たちの課題を自ら解決していく 体制を確立しましょう!



理事長 岩澤 六夫

昨年9月法人設立から20年となり「20周年記念誌」を発行しました。平成2年のふきのとう開設時は全く何もないヨチヨチ歩きの法人から今やっと20歳の成人になりました。

4つの障がい者福祉施設と1つの公益事業（とぶきふねん・一般就労）で令和3年度の事業収入3億5千万円、令和4年3月末資産2億4千万円、利用者数150名の事業規模になり、見かけ上は1人前の成人ですが、内実は多くの解決すべき課題を抱えています。

露の会の今からの課題は、法令順守は勿論、地域社会への貢献です。それらを実現していく力は職員集団の力量アップなしには出来ません。今年の職員教育は今までの本部研修に加え、各施設・事業所が現在かかえている課題を正面から取り上げ話し合い、改善の道筋を見つけ解決していくことに焦点を合わせていきたいと考えています。

そのための本部研修と施設長会、各施設・事業所の職員会議の場を有機的に結び付けて実施していきたいと思えます。

施設長、主任、リーダーは勿論、全職員の課題取組みへの積極的な参加をお願いします。

<目次>

1. 理事長あいさつ	3
2. 2021年度事業報告と2022年度事業計画	
1) 本部	5, 6
2) ふきのとう	7, 8
3) ころぼっくる	9, 10
4) ぽぷら八王子	11, 12
5) ひのき工房	13, 14
6) とぶきふねん	15, 16
3. 2021年度決算報告	17~19
4. 2022年度予算書	20
5. 豪雨災害、ウクライナ支援等の御礼	21
6. 後援会だより	22, 23
後援会からのお知らせとお願い	24

トピックス	ぽぷら八王子	1	ころぼっくる	2
	とぶきふねん	25	ひのき工房	26
	ふきのとう	27		

表紙 “ここから Smile FES” での “ふきのとう” “ひのき工房” 合同販売
裏面 (28) “ふきのとう” と “ひのき工房” で製作した木工製品の紹介
裏面 (29) “ぽぷら八王子製品” & “ころぼっくる利用者の絵画作品”

2021年度 事業報告

社会福祉法人 露の会 本部

1. 法人設立20周年記念誌を発行しました。

数年前から各施設で準備するようお願いしておりましたが、どうしても日々の仕事が優先となり、結局秦施設長を中心に本部及び理事、各施設長でまとめることになりました。不十分とはいえ、ふきのとう開設から法人の歴史を振り返る資料として中堅や若い職員の学習資料としても役立つと思います。

八王子市長等お世話になっている方々をはじめ、理事、評議員、職員、御家族、利用者の皆さんの寄稿に改めて感謝申し上げます。

2. 公益事業の組織運営の確立

①東京都のソーシャルファームの認定制度は応募致しましたが、当初説明でなかった“1年契約の繰り返しではダメ”との条件で残念ながら認定されませんでした。

②独立した事業所として管理者を置きましたが、まだ十分な理解が得られず、人員減の補充も出来ず、厳しい運営になりましたので、新年度に向けた諸課題の改善の準備を進めてきました。

3. コロナ感染症対策

新たな感染力の強いオミクロン株の第6波で各施設とも若い人の感染が1人、2人と判明しましたが、それぞれの施設のすばやい検査、お休み対策などで、クラスターに拡大させることなく運営を継続しています。

4. 各施設の指導

毎月施設長会、事業検討会の他、個別にも各施設長と密接に連携し合い、それぞれの課題に対処してきました。

5. 職員の労働条件の改善

平均2%以上の賃金引上げと特定処遇改善加算による期末手当の増額で一定の改善を計りました。

6. 地域社会の関わり

①コロナ感染予防のため残念ながら子供食堂は休業状態が続きました。

②豪雨災害被災者への寄附を実施し、161,496円を集め、中央共同募金会と東京都共同募金会を通じて送ることが出来ました。

③隣地の武田様より空家になった家屋敷を使うならとのありがたいお話しを受け、何回も話し合いを重ねて、4月よりお借りすることになりました。

2022年度 法人事業方針

社会福祉法人 露の会 本部

1. 新施設開設の検討

ひのき工房は開設以来、町会の集団回収を引き受けたり、小学校の木工授業の手伝、小中学校の花壇の草取り、更には子供食堂の企画、立上げ、運営に参加し、地域社会との関わりを深めてきました。

更に、2年前から始めた“お助け隊”で、高齢者世帯の方などからとても喜んでいただき口コミで広がっています。

地域住民の方々などから、役立ち喜んでもらえる仕事を中心に据えた障がいを持つ人たちの働く職場を創ることは、素晴らしいことです。

今年1年ひのき工房を中心に検討を進めます。

2. 各施設運営のみなおしと確立

- ①ふきのとうは、生活介護一本化を準備すること。
- ②ひのき工房は、リサイクルやお助け隊など外作業を中心とした新施設を検討すること。
- ③ぽぶら八王子は、利用者の定員までの採用定着と型替要員の確保・養成で安定した運営を確立すること。
- ④とぶきふねんは、独立した事業所としての運営を確立すること。

3. 労働条件の改善

- ①職員は、今まで毎年平均2%以上の改善を行ってきましたが、全く不十分です。今年、国の臨時交付金等も使い平均で3%以上の改善を実施します。
- ②一般就労や就労継続支援 A 型のメンバーで、勤務や作業レベルの安定した方から順次最低賃金より50円以上アップし、健常者と比べても“同一労働同一賃金”と言えるようにします。
- ③就労継続支援 B 型の皆さんも作業の質・量に応じて工賃が向上するよう努めます。

4. 人材育成

- ①引き続き、法人研修を充実させ、支援レベルアップを計ります。
- ②現場を担う施設長、主任、リーダーの課題をわかりやすく提示し、その育成に努めます。

2021 年度 ふきのとう事業報告

ふきのとう施設長 清水 潤児

<総括>

今年度も引き続きコロナ感染者を出さないことに力を入れてきました。利用者も感染対策への意識が高くなり、毎日の朝礼で利用者の代表がマスク着用や黙食などを呼びかけています。その結果コロナ禍でも閉所することなく活動できました。その中で「ちょー気持ちいい」が八王子市役所とのコラボ商品として販売されることになりました。これは利用者にとって大きな励みと生きがいになりました。

送迎車の1台が古くなったため、中央馬主福祉財団の助成を頂き、新しくリフト送迎車を購入しました。

「職員は利用者のサポート、利用者は職員のサポートと互いに感謝し、互いを敬う」をモットーに活動してきました。

(1) 生活支援

加齢や障害による身体的変化に伴い、支援方法も変えていかなければなりませんでした。その為、新たな課題を分析するだけでなく利用者の想い・ニーズなどを汲み取っていく支援力が重要になりました。また、主介護者のサポートも視野に入れた包括的な支援にも努めました。

(2) 就労支援

「一人ひとりが出来ることにベストを尽くす。」「社会の一員として胸を張って生きること。」作業を通して、この二つが実現できるよう支援してきました。ゆっくり作業に見えますが、利用者本人は全力で取り組んでいるのです。その頑張りにフォーカスしてきました。

(3) 虐待防止委員会

虐待防止委員会を設置しました。職員は虐待防止についてWEB研修などで学び、グループワークで適切な支援について考えました。施設内グループワーク研修では活発な意見交換をし、互いに意見が言い合える風通しの良い施設づくり、利用者が安心して利用できる環境づくりを目指しました。

(4) 研修

法人内研修では他事業所のOJT発表を通して、人材を育てていくことの大切さと難しさを学びました。

(5) 地域交流

コロナ過で地域の行事が中止する中、神社の清掃や近隣宅へのリサイクル回収、日々の関りで交流を図りました。

(6) 防火・防災対策

年に2回(9月火災・3月地震)、消防署と連携し避難訓練を実施しました。利用者と全職員で簡易担架の使用方法を確認しました。

2022年度 ふきのとう事業計画

ふきのとう施設長 清水 潤児

<事業運営方針>

- ① 路の会の理念に基づき、利用者の社会参加の場としての役割を大切にし、安心して楽しく過ごせる施設であると共に、利用者が主体的に活動できる体制を整えます。
- ② 生活と仕事のバランスを考慮しながら、利用者の心身状態を第一に考え、一人ひとりの個性に合った生産活動を提供します。利用者の作った物にこそ価値があります。
- ③ 職員の資質向上の為、法人内外研修に参加します。ADL(日常生活動作)向上ができる施設環境を目指します。利用者を取り巻く環境をソフトとハードの両面から整えます。
- ④ 地域に開かれた施設を目指します。日々の関りやりサイクル活動を通して地域に根差した施設を目指します。

<事業内容>

・生活介護と健康管理

利用者・家族が安心して利用できる場所づくりをしていきます。

身体のサポートと同時に話し合いの場を設け、利用者の思いや希望など隠れたニーズを模索していきます。

クラブ活動は、十分な感染対策を行い継続していきます。楽しみやりハビリ効果を兼ねたクラブ活動、心身機能の向上を目指していきます。感染状況を考慮しながら行事等も企画していきます。

嘱託医の定期診察を実施し、医師のアドバイスを日々の支援に活かしていきます。利用者を取り巻く家族や相談支援専門員などとも連携をとりチームで支援していきます。

・就労支援

利用者の生産意欲が高まるような声掛け、雰囲気づくりをし、自分達で作った製品を売った喜びを大切にします。現在の受注を継続し、新たに SNS でも製品を発信していきます。注文につなげていきます。

<職員研修>

・個別支援計画

職員は全利用者の支援計画を理解し、計画に基づいた支援が実施されているかモニタリングし、チームで対応していきます。

法人研修・ふきのとう研修を実施し、支援への理解を深めていきます。虐待防止委員会によるグループワークを適宜実施し、職員間のコミュニケーション力を高めていきます。互いの支援法などを指摘しあえる、風通しの良い施設づくりに努めていきます。

<地域交流>

- ・日々の関りやり施設周辺、町内の神社清掃に参加し交流を図っていきます。災害時には地域の方も一時的に滞在できるよう整備していきます。

<感染防止委員会の設置>

- ・感染症マニュアルを整備、BCP 計画を作成します。感染症を理解し、全職員が現場で活かせる知識を習得していきます。

2021年度 ころぼっくる 事業報告

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

<2021年度総括>

- ・2021年度もコロナ禍でのスタートとなりましたが、子どもたちも成人の利用者さんも元気に来所され、新1年生も新たに加わり、にぎやかな日常のスタートとなりました。放課後デイにおいては、2年前より取り入れてきた当番活動(役割)が定着し、最近では、低学年の子が中高生の姿を真似て、僕も私もと当番活動をやりたいとの声があがり、お姉ちゃんやお兄ちゃんの姿を真似て、はじまりの会の司会やおやつのおいさつのかけ声といったことができるところについては、みんなの温かい眼差しの中、わくわくドキドキしながら取り組む姿がよく見られました。小学生から高校生といった異年齢集団での生活の良い場面が見られました。また、上級生女子集団としての関係性が少し丸みを帯びたというか互いのことを理解し合える、共感しあえる関係性になってきた1年でもありました。イベントとしてはひのき工房の畑の野菜採り体験を実施したり、うちわ作りをしたり、カキ氷を作ったりと子どもたちが楽しめるイベントを実施しました。保育環境設定としては、児童への興味を引き出すために、様々な支援用具を製作し、特に言語がしゃべれないけど文字に興味がある、文を作れるといった児童の表現方法を広げることができました。日中一時、認定短期入所においては、定期的に利用される方がほとんどですので、環境設定を大事にすることで安定した生活を過ごすことができ、土曜日については城山湖へのドライブが定番となりました。
- ・職員教育においては年間チームOJTを基本にしつつ、法人内研修、施設外研修により新たな見識を学び、施設内では、消防訓練、虐待防止研修等を実施してきました。様々な研修を通す中でそれぞれが自らの振り返りに多く繋げることができた研修となりました。
- ・関係機関の連携については、利用者の状況を子ども家庭支援センター、支援学校、支援学級、相談支援事業所、作業所と共有し、市内の児童福祉課題については、八王子地域自立支援協議会子ども部会において共有をしていきました。

<2021年度実績>

① 放課後等デイサービス

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	168	157	196	154	129	162	170	154	161	128	140	189	1,908
人数	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336

② 認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする) 月当たりの支給量5日/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	29	22	27	27	10	24	28	24	26	20	18	24	279
人数	11	8	10	10	5	8	10	9	10	8	9	9	107

③ 日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象) 月当たり支給量56時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間	199	207	213	204	131	203	212	204	209	158	114	188	2,238
回数	58	59	64	59	37	58	61	58	59	46	32	61	652
人数	14	16	15	14	11	13	15	15	17	13	14	15	172

2022年度 ころぼっくる 事業計画

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

事業所名	ころぼっくる
事業名	障害児通所支援事業 (1) 放課後等デイサービス 地域生活支援事業 (1) 認定短期入所事業 (2) 日中一時支援事業
職員数	施設長(1) 常勤職員(1) 非常勤職員(14)

1. 事業内容・事業目的

障害児通所支援事業

- ・放課後等デイサービス(八王子市在住の方を対象とする)
1人ひとりの個性と集団で育まれる生活力を大事にし、継続性による変化を大切に捉え、ライフステージに必要な活動を取り入れ、様々な体験を通して、個々の感性を育むことを目的とする。

地域生活支援事業

- ・認定短期入所事業(八王子市在住の方を対象とする)
 - ・日中一時支援事業(八王子市在住の方を対象とする)
- 障害児(者)の日中活動及び宿泊の場を確保し、日常的に介助している家族の就労支援及び一時的な休息時間の確保を目的とする。及び障害児(者)の緊急一時保護を目的とする。

2. 事業運営方針

障害のある方が、住み慣れた地域でいきがいをもち、自分らしく生きることを確立できるように支援する。

- (1) 利用者とその家族が安心して利用できる環境を作る。
- (2) 利用中、一人ひとりの持つ能力を活かした生活ができるように支援する。
- (3) 地域の人たちと交流の機会を持ち、相互理解の場を持つ。

3. 具体的な取り組み

2022年度も、これまでの事業継続とともに、関係機関との連携を強化し、よりよい支援に向け内外の研修を通して、信頼と安心のサービス向上に取り組みます。

- ① 「利用者とその家族支援」
- ② 「関係機関との連携」
- ③ 「より質の高い職員集団を目指す」
- ④ 「地域との連携及び交流の継続」
- ⑤ 「環境衛生及び整備の徹底」
- ⑥ 「定期的な防災訓練の実施」

2021年度 ぽぷら八王子 事業報告

ぽぷら八王子施設長 木原 法子

1、2021年度 総括

- ①2021年度もコロナ禍で特別な行事はできませんでした。ぽぷら八王子で生産したお弁当箱に入った季節のお弁当を戴くことが唯一のイベントになりました。また、ひのき工房から、クッキー・パウンドケーキ等の販売に来てもらったのも、楽しめたと思います。コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大が急に広まった2022年1月以降は、スタッフ2名が感染をしました。また、メンバーさんのご家族が感染したり、スタッフの家族が感染ということがあり、八王子PW工場もいつ閉鎖になってもおかしくない状況でしたが、何とかここまで閉鎖をせずに工場を稼働できました。
- ②メンバー支援に関しては、半年以上かけて、B型メンバー1名をA型に移行できるように支援しました。また、6月から通所を始めたB型のメンバーは、ぽぷら八王子を利用して、規則正しい生活ができるようになったそうです。しかし、4月から6月にかけて、3名のA型メンバーが入職しましたが、一人も定着させることができませんでした。
- ③生産面では目標の1日の生産数40,000個は概ね達成することができました。折箱タイプの食品容器の受注が増え、スタッフはエフピコ様からの要請で、残業や休日出勤をして、生産しました。その結果90万個以上の生産数を出した月もありました。また、良品効率99%は4月～12月まで9ヶ月連続で達成することができました。

2、生産状況

生産活動 (毎月の出荷数と売上)

	4月	5月	6月	7月	
出荷数	876,215 個	738,530 個	891,670 個	914,040 個	
売上	3,180,660 円	2,680,864 円	3,236,762 円	3,317,965 円	
	8月	9月	10月	11月	
出荷数	754,850 個	901,750 個	816,310 個	834,120 個	
手作業	24,000 個	38,000 個	1,350 個	20,385 個	
売上	2,806,105 円	3,378,952 円	2,968,105 円	3,086,647 円	
	12月	1月	2月	3月	合計
出荷数	793,885 個	729,050 個	732,690 個	877,645 個	9,360,755 個
手作業	71,502 個	25,920 個	10,080 個	64,800 個	256,445 個
売上	3,078,483 円	2,717,731 円	2,687,094 円	3,051,749 円	36,191,117 円

全体を通して、生産数としては安定していたと考えられます。しかしながら、後半は、やはり、人手不足から忙しい毎日でした。特に8月より新しい仕事として、仕切りのばらし手作業を獲得できたにも関わらず、人員不足でこの仕事をやり遂げられるかという不安がありました。そこは露の会の他事業所より、応援をいただき、何とかやり遂げることができました。今ではスタッフ1名、メンバー1名で仕事を行っております。

3、フロアホッケーと余暇活動

2021年度もコロナウイルス感染拡大の影響で、フロアホッケーは練習も行わず、試合にも一度も参加しませんでした。

余暇活動としては、今年度も、何度かぽぷら八王子で生産したお弁当箱に入っているお弁当を注文し、みんなでお昼に戴きました。今年はイオンの恵方巻も戴きました。また、ひのき工房からケーキの販売にも来ていただきました。その日はメンバーさんも、スタッフも買い物を楽しむことができました。

2022年度 ぽぷら八王子 事業計画

ぽぷら八王子施設長 木原 法子

1 生産目標 1日41,000個 月目標820,000個 クレームゼロを目指します。

検品、包装、梱包、ケース作り、側材・内装補充、手動機での製造、ロス解体等の仕事を担当するのは、メンバーで、スタッフはメンバーが安心して仕事に取り組めるように機械の調子を整え、サポートしていくことが今年度も大切になります。

2 良品効率 99%を目指します。

(株)エフピコ様の信頼を得るためには、良品効率を常に99%以上にすることが必須になります。2021年度は4月から12月まで達成することができました。今年度はより高い数字を目指し、1年を通して達成できるようにしていきます。

3 メンバー支援

ぽぷら八王子は、障害のある人たちの就労系の事業を行う事業所として、(株)エフピコ様から委託を頂いたものであります。そのため、支援としては、障害のあるメンバーが「安全で、安心して、気持ちよく、意欲的に働き続けることができる職場」を確立していくことが最大の課題となります。今年度も職員会議・支援会議を毎週一回行い、本部のweb研修を活用し、スタッフの支援の基礎力を付けていきます。メンバーがぽぷら八王子で毎日休まず仕事をつづけられるように、支援できる力をつけていきたいと考えています。

4 地域とのつながり

2021年度は戸吹町町会のお祭りや清掃活動に参加することができなかつた為、今年度も引き続き地域の方とのつながりを深める年度とします。そして、戸吹町にある障害をもつ人たちの事業所との連携も模索していきたいと思えます。

<安全衛生と健康管理>災害ゼロを目指します。

今年度もスタッフ、メンバーはヒヤリハット報告を行って、災害に対して意識付けをしていきます。危険に対しても各自が少しでも予測できるように考える習慣を身に付ける危険予知トレーニングも行っていきます。また、安全衛生会議を月一回行い、スタッフが安全パトロール結果を報告し、他工場・他施設での災害報告も受けながら、一人ひとりが安全や衛生について常に考えていくようにし、「安全で、安心して、気持ちよく、意欲的に働き続けることができる職場」を確立していきます。

健康管理としては年一回の健康診断の実施とインフルエンザの時期にはできるだけ全員に予防接種を行います。特にコロナウイルスが終息するまでは注意し、更にインフルエンザやノロウイルスが流行する時期には、メンバー向けに予防のための勉強会を毎月実施していき、予防に努めていきます。

<防災対策>

消防計画にもとづき、年2回以上の避難訓練・防災訓練を実施します。昨年度は物流センターとの合同での避難訓練に参加しました。また、消火器訓練も行います。関東地域の大地震等災害時の連絡方法・避難場所を家族等に確実に伝わるよう整備していきます。

<職員研修等>

年間の法人職員研修に積極的に参加します。昨年の「チームOJT」の研修会で学んだことを基本に法人全体ですすめる「チームOJT」をぽぷら八王子でも実施し、発表していきます。また、外部研修への参加を企画し、職員の資質向上をめざします。研を通し、ぽぷら八王子で毎日仕事を行っていく上で必要な支援を行える職員の育成を目指します。

2021年度 ひのき工房 事業報告

施設長 新野 浩

1. 新型コロナの影響続く ― 事業縮小なしで支援継続

新型コロナの感染拡大が第5波、第6波と続き、生産活動売上や利用者レク活動に大きな影響を受けた。今年度は3回(利用者3名)の陽性者が発生したが、迅速な館内消毒、保健所対応、関係者のPCR検査等を行い、いずれも感染者を広げずに収束することが出来た。

また、陽性者発生時は一時在宅支援に切り替え、利用者さんにはお休みしていただいたが、可能な限り支援の継続を実施した。

2. 生産活動(年間売上1,486万円) コロナ影響による売上減をお助け隊がカバー

コロナ拡大の影響により、上期のイベントは全て中止となり、イベント売上は下期に一部再開されたいちょう祭り等となった。販売の機会が減る中でも新製品の開発や販売方法を工夫し、行われたイベントでの売上は過去を上回るものもあった。更に、おたすけ隊の大活躍により売上大幅減が予想されていた年間売上は前年度と比べ、約80万円の減収で済むことができた。

- 1) リサイクル事業：古紙回収(有料回収)、薪割りに加え、おたすけ隊が好評で、新規顧客とリピーターが増え、売上アップに大きく貢献した。売上はリサイクル事業では過去最高額となった。
- 2) 木工事業：コロナ禍のため、イベント収益が大幅に減少となった。しかしレーザー加工では技術を上げ、新商品開発や新規取引に注力し、来年度に繋がる成果を上げた。
- 3) 清掃事業：今年度から新たに取り組んだ夕焼け小焼け公園清掃では、月に1~2回活動し、広い公園内を互いに協力し合いながら年間を通して取り組めた。
- 4) お菓子作り：上期でのイベント収入は減少傾向だったが、販路拡大に注力し、売上目標80万円を大きく超えることが出来た。
- 5) 生活介護：かちかち君検品、ゴルフボールの請負作業では、作業工程をしっかりと覚えることができ、繰り返し行うことで作業効率も上がり売上アップにもつながった。
- 6) 野菜作りと販売：栽培した野菜は、給食の一品として使ってもらったり、所内やワークセンター・リボン等で販売し、喜ばれた。また今年度は初めての試みで、ころぼっくるの児童にトマト、ブルーベリーなど収穫体験を行い好評だった。

3. 利用者の生活の質向上

- 1) 2月、送迎中に大きな転倒事故を発生させてしまい、診療、ホームなど皆んなで可能な限りの対応を行いました。病気の再発もありお亡くなりになりました。事故の重大性を再認識し、同じ事故を再発させないための話し合いを何度も行いました。安全対策マニュアルの整備を進め安全運転研修を実施し、安全運転の徹底を図らなければなりません。職員一同、利用者の皆さんの安全・安心を一番に考え送迎を行うようにします。
- 2) 5月、提携グループホームところが2号館ひまわりを新設したことにより、新たに5名の利用者さんを入所につなげることが出来た。グループホームに入所することにより、食生活や生活リズムの改善が見られ安定した通所にもつながった。
- 3) 相談支援員やケアマネージャーを新たに利用するなど、地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携を取り、生活環境の改善、移動支援の利用等、利用者のQOL向上につなげることができた。

4. 職員研修実施の強化 ― 職員の資質向上と支援スキルアップ

コロナ感染拡大の影響で、ウェブ研修がメインとなったが、法人研修ではzoomで各施設を繋ぎ、新たな研修方法を取入れることができた。法人主催の講師訪問研修では「成年後見制度の理解」、施設ウェブ研修では4回に渡り「高次脳機能障害」について学び、また八王子市の主催のウェブ研修ではサービスの基本報酬についてや虐待防止研修(グループワーク含む)、集団指導監査研修を受け、職員全体で資質向上に努めた。

職員体制では、9月から支援員として若手フルタイム職員（2名）1月に事務職員（1名）が加わり体制強化を図った。職員は、互いに協力し合い、同じ方向をむいて業務に励み、連携のとれたチームワークで取り組んだ。

2022年度 ひのき工房 事業計画

ひのき工房施設長 新野 浩

1. 事業運営方針

- 1) 私たちは、人間としての尊厳を守り、利用者の安全・安心を一番に考え支援を行い、利用者が主体性をもっていきいきと働き、心地よく笑顔で過ごせるよう支援する。
- 2) 就労継続支援事業の売上増で利用者工賃アップを目指し、週3日以上通所の利用者平均工賃月額3万円以上をめざす。
- 3) 職員スタッフは、日々の支援が職員相互のチームワークによって成り立つことを十分に自覚し、互いに思いやりの心を持ち、相手を尊重し協力し合える職場環境作りを進め、常に職員間の信頼関係を大切に一致団結した職員チームを継続する。
- 4) この地域で障害のある人たちが自分らしく自立し、障害のある人もない人も共に手をたずさえて生きていけるように、地元近隣住民・町会・小中学校・福祉施設・病院等との地域交流をさらに進め共生社会をめざす。
- 5) 地域の子供たちや高齢者の方たちの「子ども食堂」や「集団回収」に協力するなど地域貢献を進め、地域の皆さまにも役立ち、親しんでいただける施設作りをめざす。

2. 生産活動

年間売上目標 1,429 万円！コロナに負けず！やりがいと利用者工賃アップをめざす！

1) 事業別年間売上目標

木工	リサイクル事業				生活介護		農園
	リサイクル	お助け隊	薪割	清掃	お菓子作り	検品/ボール	
330万円	440万円	264万円	60万円	150万円	120万円	30万円	35万円

- 2) 木工事業：利用者さんの意向をもとに作成した個別支援計画にもとづいて、その方に合った作業に就けるようにするとともに、主体的に個々の能力を充分発揮できるよう支援し、利用者さんにとって楽しく作業が出来る商品を取り入れていく。
- 3) リサイクル事業：作業有料化を継続実施。また、おたすけ隊の依頼を増やし利用者さんが仕事に対し、意欲や自信が持てるような支援を心掛け、利用者さんの話に耳を傾けながらニーズに対応していく。
- 4) 清掃事業：身体を動かす屋外作業が好きな利用者さんが担当し、作業準備から片付けまで利用者さんと協力し合い、契約継続できるよう誠実に取り組む。
- 5) 生活介護（請負作業）：利用者さん主体に出来ることを増やし、一人ひとりのスキルアップを目指し、他の事業部と協力しながらネット販売にチャレンジする。
- 6) お菓子作り：作業計画や新商品開発など、積極的に利用者さんにも携わってもらい、やりがいを持って取り組める環境を提供し、また体調管理等、定期的にあセスメントをおこない、安定した通所、安定した作業に取り組めるよう支援する。
- 7) 農園作業：お菓子作り班の材料となる人参、小豆、ブルーベリー等や厨房用野菜作りに力を入れ、収穫、洗い、袋詰め、販売など、生活介護の利用者さんが担当して行う。

3. 利用者の皆さんが安心して元気に働けるよう個別支援・健康管理の充実をめざす

- 1) 2月に起した事故、その後の対処を改めてゼロから徹底的に見直し、送迎時の安全対策マニュアルは勿論、事故や体調急変などに対する「利用者の命を守る」マニュアル作りを進めます。

- 2) 今年も毎月1回の嘱託医訪問相談及び週1回の理学療法士リハビリ(理学療法士3名・作業療法士1名)を継続実施し、利用者の健康管理に取り組む。
- 3) 新型コロナウイルス感染症対策の継続実施を徹底する。
- 4. コロナと共存の中でも、主体的に出来ることを増やし楽しみを見つける!**
- 1) 毎日の昼休みでは、密にならないように注意し、TVゲーム、卓球、散歩などを行い、利用者の心身の健康維持に努め、利用者の皆さんが主体的に楽しく過ごせるよう工夫する。
- 2) 絵画・イラスト・カレンダー製作等も力を入れ、作品展も積極的に応募する。
- 3) 季節ごとや小さなイベントにも飾りつけを行う等、雰囲気や皆で楽しみ明るい環境作りをする。

2021年度 とぶきふねん 事業報告

とぶきふねん所長 新野 浩

1. コロナ対策について

- ・コロナ対策の意識付けを継続。手洗い、うがい、マスクの着用を徹底し、消毒用のアルコールを各部屋の入口などに置き、本部から支給されたサーモカメラを食堂に設置し、検温がスムーズに行えるようにしました。
- ・3回のワクチン接種をスタッフ・メンバーともに無事終えることができました。
- ・2月に1名の感染者が出ましたが幸い感染拡大することなく収束することができました。

2. 安全衛生推進委員会、労災、健康管理

- ・月に一度、委員会を開催しました。コロナ感染予防のため、緊急事態宣言下の期間は、ソーシャルディスタンスを保ちながらの開催としました。また、昨年度に引き続き現場の皆さんの努力で、労災ゼロを継続中です。
- ・スタッフ・メンバーから要望があった、健康診断でのバリウム検査が行える健康センターへ変更しました。(バリウム検査対象者 11名中 6名受診)
- ・粉塵マスクのフィルターを半年に一度定期的に全員交換し、衛生管理を強化しました。

3. 受託業務の質、作業効率を向上させる

- ・廃棄物処理施設技術管理者の資格を取得(職員1名)
- ・フォークリフトの資格を取得(職員2名)
- ・多摩ニュータウン環境組合にてゴミ処理施設への火災・爆発事故防止対策研修会に参加し、異物混入等の危険性などについて全体会や昼礼時に時間をとり話し合いを重ねました。また作業に慣れている複数の人に、それぞれがどのような作業の進め方をしているかを話してもらったと共に、各自がそれを基に色々な方法で作業を試し、自分に合った効率と質、両方が向上する方法で作業に取り組みました。

4. メンバー支援

- ・メンバーの支援担当者(メイン・サブ)を決め、職員会議にてメンバーの状況の報告が行われるようになったため、職員の意識がメンバーの体調などに向けられやすくなりました。情報共有することでメンバーの状況なども把握や支援がしやすくなりました。
- ・グループホーム入所希望のメンバーに相談支援と連携し、入所に向け準備を進めました。
- ・3月、体調不良によりメンバー1名が退職されました。

5. 独立した事業所としての運営

- ・障がいのある方にとってより良い就労の場を目指し、一昨年から行っているメンバーミーティングや全体会議、個別面談によりメンバーが働きやすい職場をつくるように努めました。
- ・人員不足が続いていましたが、3月の求人募集でスタッフ・メンバー合わせ6人採用し、新年度に向けて準備を進めました。

2022年度 とぶきふねん 事業計画

とぶきふねん所長 新野 浩

1.受託業務を質・量共に100%完遂する

- ・不燃物手選別・有害・マット共に作業品質を向上させながら、日々遂行する。
- ・その時々からの市からの要請にすべて応えるべく、報連相を徹底し行き違い、遅れやモレのないようにする。
- ・それぞれのスタッフが自分の担当する作業の責任を持って遂行する体制を確立する。
- ・納入先からのクレームゼロに努める。クレームが発生したら、原因を調べ具体的な対策を決めて再発防止に努める。
- ・(株)メタウォーター様との「報連相」をしっかり行い、行き違いをなくし、連携し、協力し合う。
- ・今年度から新たに請負う小型家電の解体作業、二次電池搬出用のテーピング作業をクレームなしで日々遂行する。

2.労災ゼロ、コロナ感染対策の継続

- ・小さなヒヤリハットも見逃さず、その対策を行い、今年度も労災ゼロで安全作業を行います。針刺し事故をなくすために市や(株)メタウォーター様に改善を提案していきます。
- ・コロナ対策の基本を徹底し感染者を出さない努力を続けます。
- ・毎朝メンバー・スタッフの意識向上のため5S(整理・整頓・清潔・清掃・安全)唱和を続け、安全な作業環境を作ります。
- ・稼働停止日にスタッフ・メンバー全員で安全衛生委員会を開き月々の課題や改善、その徹底を周知します。併せて危険予知トレーニング(KYT)で気付きや安全行動の向上に繋げていきます。
- ・健康管理のための健康診断や予防接種等をもれなく行い、万が一に備えた避難訓練、防火訓練を行う。
- ・火災に繋がる可能性のある電池、ライター等の選別に注意し工場火災事故防止に努めます。

3.気持ちよく働き続けられる職場を作る

- ・メンバーやスタッフひとり1人の人格が守れ、働きやすい環境にします。まずはお互いを理解しあうことから始めます。
- ・新入スタッフやメンバーが少しずつでも確実に作業を覚え、気持ちよく働き続けられるよう協力し合います。
- ・問題が起きても、それを改善するため積極的に話し合い協力し合える職場にします。
- ・メンバーが作業や環境など何でも積極的に発言し、提案し意欲的に参加出来る職場作りを行います。
- ・職員会議・安全衛生委員会・メンバーミーティング、毎日の朝・昼礼で報連相を徹底し全員がまず情報を共有出来るように努めます。
- ・戸吹町の行事、周辺清掃活動等に参加し地域社会との交流を大切にしていきます。

4.独立した事業所としての運営を確立する

“公益事業”として、ひのき工房から独立し2年目になります。前年度よりも職員ひとり一人が独立したと意識をもち事業所の運営、事務処理を含む管理業務も出来るだけ早くとぶきふねんで行えるように引継を進めていきます。

2021 年度決算報告

資金収支内訳 (内部取引含む)

(単位:円)

	本部	ひのき工房	ふきのとう	ほづら八王子	こるぼっくる	戸吹不燃物	合計
事業活動による収支	収入						
	165 就労支援事業収入		15,557,123	1,096,182	36,501,967		71,115,000
	01 木工事業収入		3,387,793	945,070			
	02 農産品事業収入		347,131				
	03 リサイクル事業収入		7,536,743	60,750			
	04 仕入品販売事業収入		539,741	90,362			
	05 生活介護事業収入		476,659				
	06 薪割事業収入		631,620				
	07 不燃物処理事業収入						71,115,000
	08 キッキー販売事業収入		1,307,010				
	09 食品容器製造事業収入				36,501,967		
	10 その他事業収入		152,602				
	11 清掃事業収入		1,197,824				
	166 障害福祉サービス等事業収入		110,514,206	38,777,457	43,714,433	29,306,669	7,554,932
	01 自立支援給付費収入		93,101,940	34,040,191	29,132,897		
	02 障害児施設給付費収入					21,019,208	
	03 利用者負担金収入		407,466	41,866	203,285	266,371	
05 特定費用収入		1,854,200	10,000	848,651	165,900		
06 その他の事業収入		15,150,600	4,685,400	13,529,600	7,855,190	7,554,932	
172 経常経費寄附金収入	490,600	195,500	40,000		29,400		
173 受取利息配当金収入	988	626	134	154	129	224	
174 その他の収入	57,905	1,846,842	10,000	457,772	73,800	838,840	
事業活動収入計(1)	548,893	128,114,297	39,323,773	80,674,326	29,409,998	79,508,996	
支出							
121 人件費支出	14,138,341	75,382,505	31,224,584	31,858,278	24,534,567		
122 事業費支出		14,123,885	3,454,919	3,969,239	3,649,998		
123 事務費支出	3,387,082	6,418,138	3,267,607	1,547,731	3,348,694		
124 就労支援事業支出		15,900,599	1,295,773	36,501,967		63,524,458	
01 就労支援事業販売原価支出		15,900,599	1,295,773	36,501,967		63,524,458	
01 木工事業支出		4,359,444	1,295,773				
02 農産品事業支出		370,182					
03 リサイクル事業支出		5,628,731					
04 仕入品販売事業支出		251,936					
05 生活介護事業支出		938,427					
06 薪割事業支出		1,090,208					
07 不燃物処理事業支出						63,524,458	
08 キッキー販売事業支出		1,360,649					
09 食品容器製造事業支出				36,501,967			
10 その他事業支出		9,520					
11 清掃事業支出		1,891,502					
128 支払利息支出	2,821						
129 その他の支出		819,597		262			
01 利用者等外給食費支出		819,597		262			
事業活動支出計(2)	17,528,244	112,644,724	39,242,883	73,677,477	31,533,259	63,524,458	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△16,979,351	15,469,573	680,890	6,996,849	△2,123,261	15,984,538	
施設整備による収支	収入						
	176 施設整備等補助金収入		59,800	1,799,800	59,800	59,800	59,800
	01 施設整備等補助金収入		59,800	1,799,800	59,800	59,800	59,800
	施設整備等収入計(4)		59,800	1,799,800	59,800	59,800	59,800
	支出						
	131 設備資金借入金元金償還支出	2,897,000					
	132 固定資産取得支出	379,500	1,405,680	3,582,610	140,910		109,306
	02 建物取得支出		264,000				
	05 機械及び装置取得支出		1,000,000				
	06 車輦運搬器具取得支出			3,582,610			
07 器具及び備品取得支出		141,680		140,910		109,306	
08 ソフトウェア取得支出	379,500						
施設整備等支出計(5)	3,276,500	1,405,680	3,582,610	140,910		109,306	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△3,276,500	△1,345,880	△1,782,810	△81,110	59,800	△49,506	
その他の活動による収支	収入						
	186 積立資産取崩収入		348,000				348,000
	193 事業区分間繰入金収入	13,960,332					13,960,332
	194 拠点区分間繰入金収入	8,200,400				3,000,000	11,200,400
	195 サービス区分間繰入金収入	7,907,000					7,907,000
	その他の活動収入計(7)	30,067,732	348,000			3,000,000	33,415,732
	支出						
	140 積立資産支出		2,000,000				2,000,000
	147 事業区分間繰入金支出						13,960,332
	148 拠点区分間繰入金支出	3,000,000		2,494,000	5,272,000	434,400	11,200,400
149 サービス区分間繰入金支出		7,907,000				7,907,000	
150 その他の活動による支出					800	24,440	
その他の活動支出計(8)	3,000,000	9,907,000	2,494,000	5,272,000	435,200	13,984,772	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	27,067,732	△9,559,000	△2,494,000	△5,272,000	2,564,800	△13,984,772	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)	6,811,881	4,564,693	△3,595,320	1,643,739	501,339	1,950,260	
前期末支払資金残高(12)	19,449,869	39,662,503	16,402,767	17,230,650	3,459,699	21,906,542	
当期末支払資金残高(11)+(12)	26,261,750	44,227,196	12,806,847	18,874,389	3,961,038	23,856,802	

事業活動内訳書 (内部取引含む)

単位:円

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ぼぶろ八王子	ころぼっくる	戸吹不燃物	合計
サービ ス活 動増 減の 部	取	085 就労支援事業収益		15,557,123	1,096,182	36,501,967		71,115,000
		01 木工事業収益		3,367,793	945,070			4,312,863
		02 農産品事業収益		347,131				347,131
		03 リサイクル事業収益		7,536,743	60,750			7,597,493
		04 仕入品販売事業収益		539,741	90,362			630,103
		05 生活介護事業収益		476,659				476,659
		06 薪割事業収益		631,620				631,620
		07 不燃物処理事業収益						71,115,000
		08 クッキー販売事業収益		1,307,010				1,307,010
		09 食品容器製造事業収益				36,501,967		36,501,967
		10 その他事業収益		152,602				152,602
		11 清掃事業収益		1,197,824				1,197,824
		086 障害福祉サービス等事業収益		110,514,206	38,777,457	43,714,433	29,306,669	7,554,932
		01 自立支援給付費収益		93,101,940	34,040,191	29,132,897		156,275,028
		02 障害児施設給付費収益					21,019,208	21,019,208
		03 利用者負担金収益		407,466	41,866	203,285	266,371	918,988
		05 特定費用収益		1,854,200	10,000	848,651	165,900	2,878,751
		06 その他の事業収益		15,150,600	4,685,400	13,529,600	7,855,190	48,775,722
		091 経常経営寄附金収益	490,600	195,500	40,000		29,400	755,500
		01 寄附金収益	490,600	195,500	40,000		29,400	755,500
	サービス活動収益計(1)	490,600	126,266,829	39,913,639	80,216,400	29,336,069	78,669,932	
費 用	取	021 人件費	14,138,341	75,382,505	31,224,584	31,658,278	24,534,567	176,938,275
		022 事業費		14,123,885	3,454,919	3,969,239	3,649,998	25,190,041
		023 事務費	3,387,082	6,418,138	3,267,607	1,547,731	3,348,694	17,969,252
		024 就労支援事業費用		15,900,599	1,295,773	36,501,967		63,524,458
		01 就労支援事業販売原価		15,900,599	1,295,773	36,501,967		63,524,458
		01 木工事業費		4,359,444	1,295,773			5,655,217
		02 農産品事業費		370,182				370,182
		03 リサイクル事業費		5,628,731				5,628,731
		04 仕入品販売事業費		251,936				251,936
		05 生活介護事業費		938,427				938,427
		06 薪割事業費		1,090,208				1,090,208
		07 不燃物処理事業費						63,524,458
		08 クッキー販売事業費		1,360,649				1,360,649
		09 食品容器製造事業費				36,501,967		36,501,967
		10 その他事業費		9,520				9,520
		11 清掃事業費		1,891,502				1,891,502
		028 減価償却費	93,490	9,606,977	2,604,796	478,313	2,111,071	589,746
		029 国庫補助金等特別積立金取崩額		△6,292,682	△1,743,811	△522,720	△1,458,746	△59,800
		サービス活動費用計(2)	17,618,913	115,139,422	40,103,868	73,632,808	32,185,584	64,054,404
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△17,128,313	11,127,407	△190,229	6,583,592	△2,849,515	14,615,528
減サ ービ ス活 動外 増	取	094 受取利息配当金収益	988	626	134	154	129	224
		101 その他のサービス活動外収益	57,305	1,846,842	10,000	457,772	73,800	838,840
		サービス活動外収益計(4)	58,293	1,847,468	10,134	457,926	73,929	839,064
	費	033 支払利息	2,821					2,821
		040 その他のサービス活動外費用		819,597		262	800	24,440
		サービス活動外費用計(5)	2,821	819,597		262	800	24,440
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	55,472	1,027,871	10,134	457,664	73,129	814,624	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△17,072,841	12,155,278	△180,095	7,041,256	△2,776,386	15,430,152	
特 別 増 減 の 部	取	102 施設整備等補助金収益		59,800	1,799,800	59,800	59,800	59,800
		01 施設整備等補助金収益		59,800	1,799,800	59,800	59,800	59,800
		108 事業区分間繰入金収益	13,960,332					13,960,332
		109 拠点区分間繰入金収益	8,200,400				3,000,000	11,200,400
		110 サービス区分間繰入金収益	7,907,000					7,907,000
		112 拠点区分間固定資産移管収益		1				1
		特別収益計(8)	30,067,732	59,801	1,799,800	59,800	3,059,800	59,800
	費	045 国庫補助金等特別積立金積立額		59,800	1,799,800	59,800	59,800	59,800
		048 事業区分間繰入金費用						13,960,332
		049 拠点区分間繰入金費用	3,000,000		2,494,000	5,272,000	434,400	11,200,400
		050 サービス区分間繰入金費用		7,907,000				7,907,000
		052 拠点区分間固定資産移管費用			1			1
	054 その他の特別損失	6,345,437					6,345,437	
	01 過年度修正損	6,345,437					6,345,437	
	特別費用計(9)	9,345,437	7,966,800	4,293,801	5,331,800	494,200	14,020,132	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	20,722,295	△7,906,999	△2,494,001	△5,272,000	2,565,600	△13,960,332	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	3,649,454	4,248,279	△2,674,096	1,769,256	△210,786	1,469,820	
繰 越 活 動 増 減 の 部		前期繰越活動増減差額(12)	36,312,059	45,351,300	30,911,036	17,370,854	12,314,979	22,559,580
		当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	39,961,513	49,599,579	28,236,940	19,140,110	12,104,193	24,029,400
		115 基本金取崩額(14)	6,345,437					6,345,437
		116 その他の積立金取崩額(15)		348,000				348,000
		01 工賃変動積立金取崩額		348,000				348,000
		056 その他の積立金積立額(16)		2,000,000				2,000,000
		02 施設整備等積立金積立額		2,000,000				2,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	46,306,950	47,947,579	28,236,940	19,140,110	12,104,193	24,029,400	

貸借対照表 (内部取引含む)

(単位:円)

勘定科目	本部	ひのき工房	ふきのとう	ぼぶら八王子	ころぼっくる	戸吹不燃物	合計
001 流動資産	52,637,681	53,749,495	17,278,441	24,806,260	8,399,331	31,169,801	188,041,009
01 現金預金	28,077,462	36,000,811	9,507,114	16,850,498	4,016,594	25,178,951	119,631,430
01 現金	57,038	81,182	43,005	21,849	206,996	32,134	442,204
02 小口現金	57,038	54,882	43,005	21,849	91,986	32,134	300,294
02 普通預金	28,020,424	35,919,629	9,464,109	16,828,649	3,809,598	25,146,817	119,189,226
03 事業未収金		14,715,018	7,771,327	4,065,083	4,316,149		30,867,577
01 事業未収金(ころ)					4,316,149		4,316,149
02 国保連		14,505,018	7,771,327	4,065,083			26,341,428
03 その他		210,000					210,000
04 未収金				3,802,599	59,269	5,926,250	9,788,118
03 その他 内部取引無し				3,802,599	59,269	5,926,250	9,788,118
15 立替金	283,209	59,785			1,019		344,013
03 利用者		59,000					59,000
04 その他		785			1,019		1,804
10 その他(本部)	283,209						283,209
23 事業区分間貸付金	4,937,795	2,375,204				64,600	7,377,599
24 拠点区分間貸付金	12,483,864			88,080	6,300		12,578,244
25 サービス区分間貸付金	6,855,351	533,677					7,389,028
26 仮払金		65,000					65,000
02 仮払金		65,000					65,000
002 固定資産	95,535,615	95,506,675	33,580,079	297,989	17,773,316	172,598	242,866,272
001 基本財産	81,585,644	59,503,378	15,675,428		15,450,564		172,215,014
01 土地	81,585,644						81,585,644
02 建物		59,503,378	15,675,428		15,450,564		90,629,370
01 建物		53,688,479	13,629,409		13,591,999		80,889,887
02 附属設備		5,834,899	2,046,019		1,858,565		9,739,483
002 その他の固定資産	13,949,971	36,003,297	17,904,651	297,989	2,322,752	172,598	70,651,258
01 土地			10,876,000				10,876,000
04 構築物		1,521,345	2,778,718		2,021,907		6,319,970
05 機械及び装置		509,032	2				509,034
06 車輛運搬具		3,985,113	9,961,840	2	9	2	7,326,960
07 工具器具備品	27,721	1,563,387	282,091	297,987	276,842	172,596	2,620,624
11 ソフトウェア	316,250						316,250
18 退職給付引当資産	13,566,000						13,566,000
19 工賃変動積立資産		2,212,000					2,212,000
20 施設整備等積立資産		23,500,000					23,500,000
22 設備等整備積立資産		3,317,000					3,317,000
23 差入保証金			8,000		24,000		32,000
25 その他の固定資産	40,000	15,420					55,420
資産の部合計	148,173,296	149,256,170	50,858,520	25,104,249	26,172,647	31,342,399	430,907,281
011 流動負債	26,375,931	9,522,299	4,471,594	5,931,871	4,438,293	7,312,999	58,052,967
02 事業未払金		132,144	72,245				204,389
03 その他の未払金	3,646,700		1,740,000				5,386,700
14 未払費用	14,926,863	2,474,804	96,649				17,498,316
15 預り金	502,697	60,000	204,000	245,000			1,011,697
16 職員預り金	6,607,014						6,607,014
19 事業区分間借入金	64,600					7,312,999	7,377,599
20 拠点区分間借入金	94,980		2,358,700	5,686,871	4,438,293		12,578,244
012 固定負債	13,566,000						13,566,000
08 退職給付引当金	9,617,000						9,617,000
09 役員退職慰労引当金	3,949,000						3,949,000
負債の部合計	39,941,931	9,522,299	4,471,594	5,931,871	4,438,293	7,312,999	71,618,987
013 基本金	31,999,415	12,805,770	7,898,325				52,703,510
01 第一号基本金	31,999,415	12,805,770	7,898,325				52,703,510
014 国庫補助金等特別積立金	29,925,000	49,951,522	10,251,661	32,268	9,630,161		99,790,612
015 その他の積立金		29,029,000					29,029,000
01 工賃変動積立金		2,212,000					2,212,000
02 施設整備等積立金		23,500,000					23,500,000
03 設備等整備積立金		3,317,000					3,317,000
016 次期繰越活動増減差額	46,306,950	47,947,579	28,236,940	19,140,110	12,104,193	24,029,400	177,765,172
02 (うち当期活動増減差額)	3,649,454	4,248,279	△2,674,096	1,769,256	△210,786	1,469,820	8,251,927
純資産の部合計	108,231,365	139,733,871	46,386,926	19,172,378	21,734,354	24,029,400	359,288,294
負債及び純資産の部合計	148,173,296	149,256,170	50,858,520	25,104,249	26,172,647	31,342,399	430,907,281

※決算内容については、落の会ホームページにも掲載しております。

落の会だよりに掲載した決算データは、落の会内部の取引も表示しております。

HPで公開した決算データは、落の会内部の取引を消去した数字となっております。

2022 年度予算

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ぼぶら八王子	ころぼっくる	戸吹不燃物	合計
事業活動による収支	収入	165 就労支援事業収入		15,290,000	1,257,000	36,797,000		73,998,100
		01 木工事業収入		3,300,000	1,115,000			4,415,000
		02 農産品事業収入		350,000				350,000
		03 リサイクル事業収入		7,340,000	72,000			7,412,000
		04 仕入品販売事業収入		500,000	70,000			570,000
		05 生活介護事業収入		300,000				300,000
		06 新割事業収入		600,000				600,000
		07 不燃物処理事業収入						73,998,100
		08 クッキー販売事業収入		1,200,000				1,200,000
		09 食品容器製造事業収入				36,797,000		36,797,000
		10 その他事業収入		200,000				200,000
		11 清掃事業収入		1,500,000				1,500,000
		166 障害福祉サービス等事業収入		112,860,000	46,020,000	41,491,600	29,995,800	4,842,000
		01 自立支援給付費収入		93,900,000	41,270,000	27,918,800		163,088,800
		02 障害児施設給付費収入					21,425,000	21,425,000
		03 利用者負担金収入		480,000	40,000	334,800	270,000	1,124,800
		05 特定費用収入		2,098,000	10,000	823,000	170,000	3,101,000
	06 その他の事業収入		16,382,000	4,700,000	12,415,000	8,130,800	4,842,000	
	172 経常経費寄附金収入	490,600	198,000	20,000		30,000		
	173 受取利息配当金収入		420	100				
	174 その他の収入	45,000	1,764,000	10,000	280,000	73,000	851,000	
	事業活動収入計(1)	595,600	130,112,420	47,307,100	78,568,600	30,098,800	79,691,100	
支出	121 人件費支出	14,517,600	83,000,000	32,828,000	29,635,880	24,877,000		
	122 事業費支出		13,229,600	3,815,000	3,465,000	3,792,000		
	123 事務費支出	3,811,000	7,527,000	3,201,000	1,547,500	2,520,000		
	124 就労支援事業支出		15,238,150	1,578,000	36,797,000		66,088,800	
	01 就労支援事業販売原価支出		15,238,150	1,578,000	36,797,000		66,088,800	
	01 木工事業支出		4,265,450	1,578,000			5,843,450	
	02 農産品事業支出		509,500				509,500	
	03 リサイクル事業支出		5,229,000				5,229,000	
	04 仕入品販売事業支出		285,700				285,700	
	05 生活介護事業支出		908,500				908,500	
	06 新割事業支出		1,021,000				1,021,000	
	07 不燃物処理事業支出						66,088,800	
	08 クッキー販売事業支出		1,364,000				1,364,000	
	09 食品容器製造事業支出				36,797,000		36,797,000	
	10 その他事業支出		30,000				30,000	
	11 清掃事業支出		1,625,000				1,625,000	
	128 支払利息支出	7,300						
	129 その他の支出		700,000					
	事業活動支出計(2)	18,335,900	119,694,750	41,220,000	71,445,380	31,189,000	66,088,800	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△17,800,300	10,417,670	6,087,100	7,123,220	△1,090,200	13,602,300	
施設整備等	収入	176 施設整備等補助金収入					59,800	59,800
		施設整備等収入計(4)					59,800	59,800
	支出	132 固定資産取得支出					110,000	110,000
	施設整備等支出計(5)					110,000	110,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					△50,200	△50,200	
その他の活動による収入	収入	193 事業区分間繰入金収入	12,014,175					12,014,175
		194 拠点区分間繰入金収入	6,961,800					6,961,800
		195 サービス区分間繰入金収入	9,829,620			3,000,000		9,829,620
		その他の活動収入計(7)	28,805,595			3,000,000		31,805,595
	支出	140 積立資産支出		550,000	3,000,000			3,550,000
		147 事業区分間繰入金支出					12,014,175	12,014,175
		148 拠点区分間繰入金支出	3,000,000		2,758,200	4,203,600		9,961,800
		149 サービス区分間繰入金支出		9,829,620				9,829,620
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	25,805,595	△10,379,620	△5,758,200	△4,203,600	3,000,000	△12,014,175	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	8,005,295	38,050	328,900	2,919,620	1,909,800	1,537,925	
	前期末支払資金残高(12)	26,261,750	44,227,196	12,806,847	18,874,389	3,961,038	23,856,802	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	34,267,045	44,265,246	13,135,747	21,794,009	5,870,838	25,394,727	

豪雨災害、ウクライナ支援等の御礼

<台風・豪雨災害の見舞金のカンパ>

昨年も静岡熱海市をはじめ全国各地で集中豪雨等が起こり、洪水災害などにより死者を含め大きな被害が出ました。露の会で呼び掛けた支援カンパに各施設で多くの方が賛同していただき下記の通り16万円余りが集まりました。

皆様の御理解と御協力に心から感謝を申し上げます。この募金の半分80,748円を中央共同募金会を通じて被災した方へ、残りの半分80,748円については、各施設長のご了解をいただき、毎年支援金や送迎車の補助をいただいている東京都共同募金会に寄附させていただきました。本当にありがとうございました。

	職員	メンバー	利用者及び家族	金額
ころぼっくる	14人		22人	54,632円
ふきのとう	6人		2人	6,664円
ぼぷら八王子	9人	7人		39,700円
ひのき工房	22人		31人	31,000円
とぶきふねん	2人	17人		20,500円
本部・役員	3人			9,000円
合計	56人	24人	55人	161,496円

<ウクライナ救済募金>

毎日テレビ等で報道されていますように、ロシアのプーチン大統領がウクライナに侵略して100日間が経過しました。こうしている今も、子どもや民間人を含めた犠牲者も増え続けており、2022年6月現在、ウクライナの人口のおよそ4分の1、約1200万人が安全を求めてウクライナ国内外で避難を強いられている他、ウクライナ国内では推定1570万人が緊急の人道支援と保護を必要としています。皆様からいただいた募金は、避難民の救援のために使われるように八王子市福祉政策課窓口(日本赤十字)を通じて行いました。ありがとうございました。皆様の御支援に感謝致します。

	職員	メンバー	利用者及び家族	金額
ころぼっくる	13		28	74,949円
ふきのとう	7		4	4,005円
ぼぷら八王子	10	9		40,000円
ひのき工房	27		31	35,806円
本部・役員	3			16,000円
合計	60人	9人	62人	170,760円

<露の会へご寄付いただいた皆様>

この数年は、コロナ禍であることもあり私どもから御寄附のお願いは致しませんでした。以下の方々から温かい御寄附をいただきました。(敬称略)

露の会本部 中間 達雄、清水 茂子、清水 真理
高尾印刷代表 林 康男、露の会後援会

本当にありがとうございました。日常におみやげなど物品の御寄附もいただいております。いろいろな形での御支援に心から感謝申し上げます。

理事長 岩澤 六夫

後援会だより

第20回路の会後援会総会(6月)は、コロナ禍のなか昨年同様、開催を中止いたします。本誌に掲載する事により、会員の皆様には下記の内容をご確認いただき、ご承認いただきます様お願い致します。

- (1) 令和3年度の活動報告
- (2) 令和3年度の決算報告と監査報告

令和3年度の活動報告

- *施設支援として、全労済団体保険の一部負担をしました。
- 以下の活動はコロナ禍にあり活動を休止いたしました。
- *各施設で行う行事に参加していきます。
- *後援会の周知活動に努めます。
- *今後の後援会のあり方について、年間を通して施設の皆さんと意見交換をして見直していきます。
- *落の会本部及び各施設職員の方々と連携して、活動しやすい後援会に努めます。

「落の会後援会」令和3年度決算報告		
令和3年4月1日～令和4年3月31日		
科目	収入	摘要
会費	395,000	会員数 65名
繰越金	1,163,366	
計	1,558,366	
科目	支出	摘要
施設援助費	300,000	全労済掛金 ころぼっくる行事費を含む
振込手数料	13,601	口座徴収料金
通信費	120	
繰越金	1,244,645	
計	1,558,366	

「落の会後援会」令和4年度予算		
令和3年4月1日～令和4年3月31日		
科目	収入予算額	摘要
会費	300,000	会員数60名
繰越金	1,558,366	
計	1,858,366	
科目	支出	摘要
施設援助費	300,000	全労済掛金 ころぼっくる行事費を含む
振込手数料	13,000	落の会だより差込紙
通信費	1,000	
会議費		
消耗品費		
雑費	5,000	
予備費		
繰越金	1,539,366	
計	1,858,366	

令和4年度取組みと予算計画

- *施設支援として、全労済団体保険一部負担をします。
- *各施設で行う行事参加等々に対し、必要な支援を行います。

多大なご支援ありがとうございます

後援会会費を納入して頂き、心から厚く御礼申し上げます。

この会費は「ふきのとう」「ひのき工房」「ころぼっくる」「ほぶら八王子」の四施設の活動に有効に使わせて頂きます。ご支援いただいた皆様のお名前を掲載させていただきます。

期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (敬称略・順不同)

伊藤 要子	伊藤 博夫	井上 睦子	遠藤 秀雄
柿下 豊一	柿下 良治	関口 大輝	岩田 みさを
肥後 伸一	玉井 良侍	窪田 幸男	熊谷 弘之
五十嵐 典子	荒井 盛男	高橋 清彦	今井 眞理子
根本 威	佐々木 正枝	細川 時子	細渕 芳
坂元 亨	山崎 具子	山内 弘樹	山本 周広
山本 誠一	山本 武志	春日 昇	小崎 健太
松本 大和	上原 剛	新島 快	森藤 徳生
西川 治	青木 勝美	石川 三郎	浅井 勤子
前田 和江	前島 みち子	村田 英子	丹野 章子
大森 敬博	大神田 芳子	大日向 宏	幡野 かづ子
天野 幸子	田島 徹也	内田 恒男	平松 廣
肥後 伸一	尾崎 初代	百崎 道子	高橋 巖
平瀬 武明	本山 瑞稀	野中 俊昌	小川 嵩晃
高橋 和子	関 裕子	岩澤 六夫	
株式会社 三和設計	株式会社 愛和セレモニー	株式会社山本工務店代表取締役 山本 周広	
株式会社 溝口祭典		一般社団法人 やまざくら福祉協会 内田 立蔵	

「露の会 後援会」への会費納入のお願い

年会費 一口 1,000円 1口以上

お振込み先/郵便口座 0150-8-194227

口座加入者 露の会 後援会

令和4年度の役員については、新規役員への引継ぎ予定となっており、コロナ禍で遅れておりますが、決まり次第、露の会 HPにてお知らせ致します。

関係各位様 **後援会からのお知らせとお願い**

落の会後援会

昨年度も新型コロナウイルス感染拡大で外出自粛をしている関係から活動を控えざるをえませんでした。令和4年度中にはワクチン接種も定着化し、終息するのではと願いつつ、実施可能となった時には、積極的に支援していただきたいと考えています。

落の会後援会会員の皆様には、引き続き新年度も継続加入していただきたくお願い申し上げます。又、会員になられていない方々で、後援会の活動・運営にご賛同いただける方には、是非後援会に加入いただきたくお願い申し上げます。

皆様方の支援で、更なる落の会の利用者支援に役立つ活動を行って参りますので、引き続きご理解、ご支援のほどお願い申し上げます。

追記：「落の会 後援会」への会費納入
年会費 一口 1000円 一口以上
お振込み方法は別紙の振込用紙をお使いください。

長い間、落の会を支えて下さった旧後援会役員の皆様には、厚く御礼申し上げます。また、引き続き、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

コロナ前の落の会後援会総会での旧役員の皆様



編集後記 (本部 渡辺)

長年落の会を支えて下さった旧後援会役員の皆様には本部も大変お世話になり寂しく感じますが、後援会 OB として引き続きご支援をお願い致します。今年も新種のウイルスが発生し衰える兆しが見えませんが、ワクチン接種が日常化し、職員の定期的な抗原検査も行われるようになり、少し安心感も出てきました。但し、日常活動には制限がまだまだ多くあり、早く皆さんの笑顔が戻り、楽しい会話ができる日が来ることを祈願し編集後記とさせていただきます。

☆HP にも詳細な資料を掲載しておりますのでご覧ください。

TEL042-667-2158 FAX042-667-2168 e-mail fukinokaihonbu@yahoo.co.jp

落の会 HP : <https://fukinokai-swc.jimdofree.com/>

※管理不十分で送付された皆様には誠に申し訳ございません。お詫びいたします。

とびきらねん トピックス

昼礼の風景



ラインでの選別作業



有害物の仕分け作業



蛍光管の仕分けとベット解体作業



ひのき工房 トピックス



ここから Smile フェス

大人気の積み木
詰め放題!!



地域の方から
大評判!!

お助け隊

2年ぶり! 待望の
いちよう祭り



和気あいあい!!
ひのき工房祭り

リサイクル事業



挨拶と仕事ができる
ワンチーム!



木工事業

できること、
一つ一つ丁寧に



生活介護事業

請負作業など毎日
頑張っています。



製菓事業

安心・安全の
こだわり素材

クッキー・パウンドケーキ

ふきのとう トピックス

“ペン立て”



ひま工房の木工とクッキー製法です



大人気
パウンドケーキ



私は
トランプマン
です。



積み木
詰め放題



ひまのとうの木工製品です



ちょー気持ちいい



積木トラック



なべしき



ひも通し



キーホルダー掛け



ちょー気持ちいい9個セット

ぽぷら八王子で製造している食品容器です

食事会で戴いたお弁当製品です。中の仕切りも作っています。



「京都の夜のおうち」 ころぽっくる 高原 良輔さんの作品



発行人
郵便番号一五七〇〇七二
東京都世田谷区祖師谷三丁目一七二〇二
障害者団体定期刊行物協会
編集人
社会福祉法人 露の会 東京都八王子市元八王子町三丁目一八三九一二(返却先)
定価一〇〇円
(会費に含まれます)